

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 POSレジ等を活用した広報事業

自治体名

愛知県消防保安課

1 事業の目的・必要性

【目的】
「あいち消防団の日（1月20日）」に合わせ、POSレジ等を活用した広域的で効果的な広報を実施することで、加入促進のみならず、現役団員の士気向上を図るものである。

【必要性】
愛知県内の消防団員数は減少傾向にあり、消防団員の確保が喫緊の課題となっている。愛知県として、市町村が継続的、安定的に団員の確保ができるよう、POSレジ等のいくつかの広報媒体を活用し、広域的で効果的な広報を実施する必要がある。

2 事業内容

「あいち消防団の日」に合わせ、POSレジ等を活用した広報を実施した。

- ①実施主体 愛知県
- ②実施時期 2024年1月20日を含む期間
- ③対象 県民
- ④内容
ア) POSレジを活用した広報（2週間）
イ) ラジオを活用した広報
・現役団員が出演しての3分間インタビューの放送（全6回（7人））
・ラジオでの60秒CMの放送（1回）
・ラジオ放送のアーカイブ化
ウ) Google及びLINEへの広告掲出（15日間）
エ) イベントでの啓発物品の配布（2200枚）
オ) 名古屋市営地下鉄のタウンガイドを用いた広報（計19カ所（17駅））



3 事業成果

- ・統一デザインを用い、POSレジ等を活用した広報を実施したことで、愛知県内全域に対し、消防団の加入促進を図ることができた。
- ・POSレジ広報の短所である対象設定の不明確さ、検証の難しさについては、GoogleやLINEを用いた広報を同時に行うことで、特にターゲットとしたい層に効果的にアプローチすることができた。
- ・ラジオ広報の短所である広報時間の短さについては、放送をアーカイブ化し、県のウェブサイトで公開することでカバーすることができた。
- ・出演した消防団員からは、貴重な機会をいただけて有難いなどの感想があり、現役消防団員の士気向上にも寄与できたと考えられる。
- ・愛知県において、利用頻度が高い名古屋市営地下鉄名城線管内のタウンガイドでの広報も実施し、消防団をより身近に感じていただくことができた。

4 目標達成状況

指標	単位	目標値	達成	備考
コンビニ店舗ブランド数	種類	1種類	1種類	ローソン
放映期間	週間	2週間	2週間	
ラジオ局数	局	1局	1局	FM AICHI
出演者数	人	3人	7人	現役消防団員7人
インプレッション数	回	300,000回	4,697,323回	使用ウェブコンテンツ：LINE及びGoogle
街頭イベント	回	1回	1回	名古屋駅にて実施
啓発物品	配布市町村	54市町村	54市町村	全市町村にリーフレットを配布。あいち消防団の日周辺に加入促進イベントを実施する市町村を中心にエコバッグを配布。

5 その他参考情報

県HPのURL:<https://shobodan.pref.aichi.jp/>